

東洋大学産学協同教育センター

ものづくり中小企業の中核を担う人材育成講座を開催しています。

今年度の開講講座

コンクリート技術講座

メカトロニクス技術講座

Excelで学ぶ水処理技術講座

スマホアプリ開発入門講座

ビジネスシミュレーション講座

経営革新技術講座

詳しい講座内容、受講料等については下記までお問い合わせください。

【開催日：6月13日(土)・20日(土)】

【開催日：7月4日(土)・11日(土)】

【開催日：9月26日(土)・10月3日(土)】

【開催日：11月7日(土)・14日(土)】

【開催日：1月23日(土)・24日(日)】

【開催日：2月13日(土)・20日(土)】



お問い合わせ：〒350-8585 埼玉県川越市鯨井2100 E-MAIL tpec@toyo.jp TEL 049-239-1646 / FAX 049-239-1937 http://www.toyo.ac.jp/site/pec/

受動歩行ロボットに関する研究



「受動歩行ロボット」は、重力のみにより、緩やかな下りスロープを自然な歩容で歩くことができます。受動歩行はエネルギー効率が高いことで知られ、ヒトの歩行に近いとも言われています。帝京大学では、歩行に関わる力学的原理の解明を目的に、受動歩行ロボットの研究を十数年行っており、近年は受動歩行の観点からヒト歩行メカニズムの解析や歩行支援機の開発を行っています。

自動車の高周波車内騒音予測技術の研究



自動車の快適性・安全性向上のためには、高周波域の車内騒音低減が重要ですが、現状、予測技術が不十分で、どの自動車メーカーでも試作車完成後に実験により対策しています。開発の初期～中期段階から静音性能を予測・検討できれば、他性能との両立や軽量化を行うことが可能となります。帝京大学では、CAEや実験計測から、予測技術の開発を行っています。

■経済学部 地域経済学科

■理工学部 機械・精密システム工学科

航空宇宙工学科

情報電子工学科

バイオサイエンス学科

情報科学科(通信教育課程)

■医療技術学部 柔道整復学科

■大学院 理工学研究科総合理工学専攻 博士課程(前期/後期)

理工学研究科(通信教育課程)情報科学専攻 修士課程

医療技術学研究科柔道整復学専攻 修士課程

帝京大学 50th

TEIKYO UNIVERSITY

歴史をしのぐ未来へ

宇都宮キャンパス

〒320-8551 栃木県宇都宮市豊郷台1-1 TEL.028-627-7111 (代表)

http://www.riko.teikyo-u.ac.jp/ E-mail somu@riko.teikyo-u.ac.jp

芝浦工業大学

芝浦工業大学は建築の精神である「社会に学び社会に貢献する実践型技術者の育成」を産学官連携活動にも取り入れ、高度な人材育成教育に取り組んでいる。産学官連携推進の意思決定機関である複合領域産学官民連携推進本部では、受託・共同研究および政府系競争的資金による委託事業(国・プロ)といった企業や社会のニーズに対応した新

価値創造につながる研究活動、ならびに地域連携を促進する文部科学省「地産(知)の拠点整備事業(大学COC事業)」の推進に学生を積極的に参加させることによって課題に対する分析・解決能力に加え、コミュニケーションやプレゼンテーション能力など学生が実践力を磨く機会、社会の創出に取り組んでいる。

東京都市大学

東京都市大学産学官交流センターは2000年に設立されて以来、官公庁・民間企業との交流を通じ、社会への発展に寄与するため、受託・共同研究などの研究プロジェクトを推進している。また、研究協力依頼など科学技術などに関する相談を随時受け付けている。企業など実際に直面している技術的課題の解決や開発、関連情報の調査・研究、技術相談などにも応じている。

なお、研究実施にあたっては通常の受託研究契約に準じて、一般受託研究の他に、同大学独自の制度である「一件50万円以下の調査・分析・技術相談・指導などを簡便な手続きで行う」「簡易受託研究」もあり、企業などのニーズ・研究目的などに合わせて利用することができる。同大学が長年にわたって培ってきた豊富な知的財産を余すことなく活用し、万全の体制でサポートしている。

帝京大学

帝京大学理工学部は航空宇宙工学科、情報電子工学科、バイオサイエンス学科などを持つ。機械・精密システム工学科では、自動車メーカー出身の教員が産学官連携に力を入れている。西脇正明教授は自動車のブレーキの摩擦振動、車の乗り心地と車両運動性能が研究テーマ。とちぎ自動車産業振興協議会や日本機械学会などの研究会を主導している。黒沢良夫講師は自

動車の車内音の低減を研究している。防音材が積層されたパネルの振動・音響解析技術を開発し、実用化された技術も少なくない。森・俊機械・精密システム工学科長はディーゼルエンジンの性能とバイオディーゼル燃料を研究。栃木県小山市のバイオプロジェクトに参画。廃食油の利用が二酸化炭素(CO2)削減と排出ガス低減につながることを明確化した。

産学官連携の新たな展開へ

大学

東洋大学

東洋大学は「哲学教育」「国際化」「キャリア教育」を柱に、教育・研究並びに産学連携活動の推進を行っている。2015年度改組された「産学官連携推進センター」では、企業や自治体との連携を強化し、学術研究のさらなる発展と社会貢献への寄与を目指して事業を展開する。理工学部・総合情報学部が教育・研究活動を行う川越キャンパスにおいては、

50年以上の歴史を持つ「工業技術研究所」が、近隣地域を中心とする産業界との窓口を担っている。また、「産学協同教育センター」は、中小企業を支える高度な技術者養成を目的とした「中核人材育成講座」、学生と企業をつなぐ「長期インターンシップ」を実施するなど、企業・学生双方への教育を通じた産学連携活動を展開している。

東京電機大学

東京電機大学は学内の研究活動を社会貢献につなげるため、さまざまな要素技術を持つ研究者を引き合わせる「CRCフォーラム」を2013年7月に開催。以来、全6回を多様な分野で実施してきた。これらの実績を背景に、新分野開拓をベースに、具体的なニーズに対応し、迅速なワンストップソリューションを提供、このような研究・連携支援活動のため発展に取り組む。

強化に務める。大学間の「連携」による産学連携にも積極的で、13年に設立した11大学1機関で構成する任意団体「大学知財群活用プラットフォーム(PUIP)」に参画。複数大学の特許や研究知識をベースに、具体的なニーズに対応し、迅速なワンストップソリューションを提供、このような研究・連携支援活動のため発展に取り組む。

足利工業大学

足利工業大学は日本遺産「足利学校」がある栃木県足利市で実学中心の教育を実践している。まもなく50年になる工学科に、2014年4月に新設された看護学部、そして足利短期大学など、多岐にわたる教育研究成果を地域に還元する「地知の拠点」「交流の拠点」「いのちの拠点」づくりを目標としている。

「地知の拠点」では、地方創生に必要な地域産業の発展や高齢化社会、少子

神奈川大学

神奈川大学は同大学が100%出資するベンチャー企業「未来環境テクノロジ」を通じて、界面活性剤を使用しない乳剤法・三相乳剤法による商品開発を進めている。

三相乳剤法は柔らかい親水性ナノ粒子の物理的作用力(ファンデルワールス引力)を利用したもので、酸や塩が混じったものや、種類の異なる油が混合した状態でも乳剤が可能などの特徴がある。エマルション(乳濁液)燃料への応用や、ノック止めクリン、シャンプー、マージンなど、多種を問わず多くの企業との連携商品を生み出している。2015年4月末現在、20社を超える企業の製品に同技術が使われた。三相乳剤法は特別招聘教授の田嶋和夫氏が発明。今後も大学での研究を推し進めながら、企業への技術移転を積極的に行う。

簡易受託いたします!

「簡易受託研究」とは1件50万円以下の委託試験、調査、分析、技術指導・相談です。





世田谷キャンパス

工学部

機械工学科

機械システム工学科

原子力安全工学科

医用工学科

電気電子工学科

エネルギー化学科

建築学科

都市工学科

知識工学部

情報科学科

情報通信工学科

経営システム工学科

自然科学科

王禅寺キャンパス

原子力研究所

横浜キャンパス

環境学部

環境創生学科

環境マネジメント学科

メディア情報学部

社会メディア学科

情報システム学科

等々力キャンパス

都市生活学部

人間科学部

都市生活学科

児童学科

総合研究所

TEL: 03(5707)0104 内線2241 FAX: 03(5707)2128

E-mail: sangaku@tcu.ac.jp ホームページ: http://www.tcu.ac.jp/

千葉大発

ベンチャービジネス実践論

熱きスピリッツとスキルを学ぶ

千葉大学ベンチャービジネスラボラトリー 編

●A5判 ●定価2,160円(税込)

千葉大発

ベンチャービジネス実践論

熱きスピリッツとスキルを学ぶ

千葉大学ベンチャービジネスラボラトリー 編

何を求めているのか? 何をしたいのか?

「ベンチャー教育は、ベンチャー起業の成功者のスピリッツ(魂)に直接触れることによって活性化される」という理念のもと、起業を考える人に、今、求められるベンチャースピリッツと実践に際して必要とされるスキルをわかりやすく解説。

◆主な内容

■第Ⅰ部 これがベンチャー・起業を成功させる思考法!

- 努力しても成功するとは限らない。しかし努力すれば必ず成長できる
- 「手を抜かない」ということを貫くと、きっと良いことがある
- 「これを究めたい!」という強い思いがほしい
- 1000年先の人類に貢献できるビジネスのタネをつくる!
- こんなこといいな、できたらいいな、に挑戦してみる
- 人と違うことをする。自分の意見をもつ
- 生き残るベンチャーになるために

■第Ⅱ部 これがベンチャー・起業を成功させる能力だ!

- 稼げなければ会社は継続できない
- コツコツと続けることが一番大切
- 学生が世界を変える!
- ピンチのときに大学・ベンチャーだからできること!
- 必然から偶然をつかむこと…そしてベンチャーへ

◆お求めは書店または弊社出版局販売・管理部まで

日刊工業新聞社 出版局販売・管理部

〒103-8548 東京都中央区日本橋小網町14-1 TEL03(5644)7410 http://pub.nikkan.co.jp/ FAX03(5644)7400